

高等部 職業科 学習指導案

日時	令和6年10月31日(木) 11:10~12:00	場所	高等部*年*組教室		
指導者	** ***(T1)、*****(T2)				
単元名	「面接をしよう~働くために必要なこと~」				
本単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・面接に必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。 (知識及び技能)〈高等部2段階A1(7)⑦〉 ・面接における課題を設定し、実践を評価改善することができる。 (思考力、判断力、表現力等)〈高等部2段階目標イ〉 ・よりよい面接の実現に向けて、改善しようとする実践的な態度を養おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)〈高等部2段階目標ウ〉 				
単元・題材の指導計画 (8時間扱い) 本時は第6時	次	時	学習内容・活動	評価の観点(○をつける)	
				知・技	思・判・表
					主体的
	1 「面接の内容を知ろう」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・面接でどのような質問を受けることが多いか知る。 ・質問に対してどう答えるか考える。 	○	
	2 「態度を身につけよう」	2	<ul style="list-style-type: none"> ・見本となる動画等を見て、適切な態度のポイントを知り、具体的な場面での態度について考える。 	○	
		3・4	<ul style="list-style-type: none"> ・入退室や着席等、動作面の態度を中心に演習を行う(簡単な質問を数問含む)。 ・演習の様子を撮影し、生徒間で評価し合う。 		○
	3 「面接の実践をしよう」	5・6(本時) ・7・8	<ul style="list-style-type: none"> ・質問への受け答えを中心として、生徒同士で演習を行う。(質問内容は固定せず、ランダムに聞かれるようにする) ・演習の様子を撮影し、生徒間で評価し合う。 		○

〔本時の指導〕

1 本時の全体目標

- ・生徒同士での面接を通し、多様な質問に受け答えすることができる。(学びに向かう力、人間性等)

2 本時における学習グループの実態

- ・本学習グループは、高等部*年生4名(**)で構成されている。
- ・4名とも、一般企業への就労を希望している。10月に予定されている現場実習では、小売店や工場等一般企業の事業所において実習を実施する。一般企業の選考フローとして採用面接を設けているため、面接の知識・技能の習得向上がグループ全体としての課題である。
- ・生徒**は、十分な声量で話すことができる。緊張したり難しい質問を受けたりする場面では、入退室や着席での姿勢が崩れやすいことや、視線を外してしまうことが課題である。スーパーでの就労を希望している。
- ・生徒**は、落ち着いた動作で入退室ができ、着席時の姿勢が適切である。表情が乏しく、声質・声量が不明瞭になりがちであることが課題である。衣料品販売店での就労を希望している。
- ・生徒**は、入退室や着席時の姿勢が良好であり、十分な声量での流暢な受け答えができる。向上心が高い故に自信が十分にもっていないことから、自己の強みや課題点の認識が課題である。工場での就労を希望している。
- ・生徒**は、相手に視線を向け、流暢な受け答えをすることができる。敬語への意識が低いことや、課題点の指摘に対して素直に受け入れることが難しいことが課題である。衣料品販売店での就労を希望している。実習先である衣料品販売店の採用面接を5月に実施しており、面接段階では合格しているが、採用面接においても「うん」という返答が多く見られた。先方の面接官からも、言葉遣いが課題であると指摘を受けている。

3 展開 ※形態の表記は 全体:全、グループ:グ、個別:個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容	指導の手立て(各Tの役割等) ※□は評価 ☆ICT 活用
全 5	1 目標や学習内容を確認する。 □ 様々な内容の質問に答えよう。	・学習内容を記した表を黒板に貼ることで、本時の学習に見通しがもてるようにする。
全 5	2 発声練習を行う。 ・就労先で用いられる挨拶や接客用語の発声を行う。	・演習前に練習の場面を設けることで、緊張感の緩和や発声が容易になるようにする。 ☆デジタルハのアプリ「こえのかざぐるま」を活用することで、自分の発声を視覚的に認識できるようにする。 ・発声する立ち位置を固定することで、全員が同じ条件で練習に取り組むことができるようにする。 ☆タブレットで店内BGMや工場の機械音等を再生することで、実際の就労先により近い状況での練習を行うことができるようにする。
全 5	3 前時の演習の様子を確認する。 ・前時の演習の動画を視聴する。 ・前時の振り返りシートを確認する。 ・前時で設定した個人目標を、ホワイトボードに記入する。	☆演習前に前時の様子の動画で視聴することで、前時の成果や課題点を確認し、本時の学習での向上や改善を意識することができるようにする。 ・前時で記入した振り返りシートを見ることで、前時の授業での質問が難しかったか、課題点を確認できるようにする。 ・個人目標をホワイトボードで掲示することで、本時の授業・演習において常時意識して取り組む事ができるようにする。
全 30	4 1人ずつ演習を行う。他の生徒3名は、面接官役となる。 ①入室→着席 ②質問(面接官1人につき2問、合計6問) ③退室 ④演習の動画を確認。気付いた点を口頭で発表。 ⑤面接官役生徒からの口頭での評価を聞く。	・入室から退室までの手順を記したカードを渡すことで、手順に沿って演習を進めることができるようにする。 ・面接官役生徒に、質問内容の一覧を渡し、自由に選んで質問するよう伝えることで、実際の面接と同様に質問を受ける状況を体験できるようにする。 ☆T2は、タブレットのカメラ機能で演習の様子を撮影することで、繰り返し振り返ることができるようにする。 ☆撮影した動画を視聴することで、演習生徒が自分の姿を客観的に見たり、面接官役生徒が再度見て新たな気づきを得たりすることができるようにする。 ・必要に応じて、動画の様子に説明を加えることで、演習生徒や面接官役生徒の気づきを促す事ができるようにする。 ・他の評価を聞くことで、自身では気付かない成果・課題を知ることができるようにする。
全 5	5 振り返りを行う ・振り返りシートに記入し、次時の目標を設定する。	・振り返りシートへ記入することで、本時の演習の成果や課題、次時の目標を考え、次時の学習や今後の面接に活かすことができるようにする。 □ ・多様な質問に受け答えすることができている。 (主体的に学習に取り組む態度) [ワークシート・観察]